

技術評価項目書（情報連携プラットフォーム整備計画策定業務）

No.	技術評価項目	任意・ 必須	提案書記載事項	配点
1. 業務実績・提案趣旨等				配点：175（8.8%）
1	業務実績	必須	・提案者の官公庁、自治体または民間企業等で本事業に類似する事業実績等について具体的に提示すること。	50
2	提案の趣旨・概要等	必須	・本業務の目的等を踏まえ、提案者が考える本業務の趣旨、提案のコンセプト、提案の概要等について提示すること。	25
3	検討対象スコープの定義	必須	・2.5.1記載の本事業で対象とすべきスコープについて、自治体のネットワーク体系、本県の特性等を考慮し、その考え方、実現性、令和5年から3年程度の構築期間、も踏まえて、具体的に提案すること。 ・想定する活用イメージ（ユースケース）について、利用者の立場を踏まえたメリットも含めて、イメージ図を用いて、具体的に提案すること。	100
2. 業務要件				配点：1200（60%）
2.1 アカウント共通化検討業務要件				配点：150（7.5%）
4	対象サービス調査	必須	・調査を行う際の考え方及び調査項目、調査方法等について、具体的に提案すること。	50
5	ID連携方式検討	必須	・現時点で想定する連携方式について、その考え方、メリット等も含めて、具体的に提案すること。	100
2.2 ワンストップサービス検討業務				配点：250（12.5%）
6	ポータルサービスの検討	必須	・現在想定しているポータルサービスについて、その考え方、メリット、提供機能、活用技術等も含めて、具体的に提案すること。 ・コスト面や活用する技術トレンド等を踏まえ、複数案を提案すること。 ・県民向け、事業者向けにそれぞれの立場での利便性を考慮して提案すること。	200
7	サービス・ポータル間連携方式検討検討	必須	・現時点で想定する連携方式について、その考え方、メリット、活用技術等も含めて、具体的に提案すること。	50
2.3 データ管理・連携方式検討業務				配点：350（17.5%）
8	庁内事業者情報の調査・標準化	必須	・調査を行う際の考え方及び調査項目、調査方法等について、具体的に提案すること。 ・標準化する際の対象となるデータカテゴリや整理する際のデータ項目等について、その考え方、メリットも含めて、具体的に提案すること。	100
9	国のベース・レジストリ等との連携方式検討	必須	・現時点で想定する連携方式について、その考え方、対象となるデータ、活用方法（ユースケース）、メリット、活用技術等も含めて、具体的に提案すること。 ・国のデータ戦略やベース・レジストリの整備の考え方等を踏まえた提案とすること。	150
10	県のモデル実装事業との連携	必須	・現時点で想定する、県が保有するデータを踏まえたモデル実装事業について、考え方やメリット等も含めて、具体的に提案すること。 ・利用者の利便性や県側の負荷軽減、費用対効果等の視点を踏まえ、複数案提案すること。 ・県民向け、事業者向けにそれぞれの立場での利便性を考慮した提案とすること。	100
2.4 公開型GIS基盤導入検討業務				配点：200（10%）
11	GIS活用業務調査	必須	・調査を行う際の考え方及び調査項目、調査方法等について、具体的に提案すること。	50
12	公開型GIS基盤導入検討業務	必須	・現時点で想定するGIS基盤について、その考え方、メリット、活用技術（製品）、本県の特性等も含めて、具体的に提案すること。	100
13	庁内GISデータとの連携方式検討	必須	・現時点で想定する連携方式について、その考え方、メリット、活用技術等も含めて、具体的に提案すること。	50
2.5 整備計画策定業務				配点：250（12.5%）
14	整備計画の策定	必須	・整備計画書に盛り込む項目を、その考え方も含めて、具体的に提案すること。 ・計画書のフォーマット案を具体的に図示して提案すること。 ・RFIを実施する際の実施項目、依頼先、各種条件等について、その考え方も含めて、具体的に提案すること。	200
15	市町村サービス・データとの連携の検討	必須	・市町村と連携すべきサービスやデータについて、本県の特性等を考慮し、その考え方、メリット等も含めて、具体的に提案すること。	50
3. プロジェクト推進要件				配点：100（5%）
16	プロジェクト推進	必須	・プロジェクトの推進方針や考え方を提示すること。 ・取組みの全体計画案について具体的に提案すること。全体計画案には、全体スケジュール、主な実施項目、実施手順、実施体制を含めること。なお、3.3で示したスケジュールは想定であり、提案内容を踏まえたスケジュールとして提示すること。 ・実施体制は、役割と配置について県側も含め具体的に提示すること。その際、提案者側の体制については、従事者の所属、役職、氏名を記載すること。 ・プロジェクトの管理方法（進捗管理、リスク管理、課題管理、コミュニケーション計画、情報共有方法等）について、具体的に提示すること。 ・プロジェクトリーダーの経歴、業務実績等について具体的に提示すること。	100
4. 納品要件				配点：25（1.3%）
17	納品物	必須	・納品物について、具体的に想定する成果物の項目及びイメージについて提示すること。	25
5. 価格点				配点：500（25%）
18	価格	必須	・本業務について可能な限り項目を分けてそれぞれの費用・工数を提示すること。 ・価格点 = 500 × (1 - 入札価格 / 予定価格) ・小数点以下1桁までを有効とし、小数点以下2桁目で四捨五入する。	500
合計				2,000